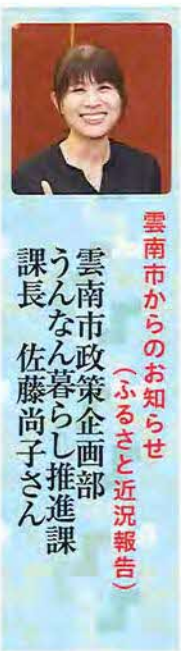




乾杯発声 雲南市議会議長 松林孝之さん

本年もお招きいただき有難うございます。皆さんにもっと雲南市を好きになっていただこうと乾杯用の酒「理八(白)」と奥出雲葡萄園の葡萄ジュースを準備しましたのでご堪能下さい。では、皆さんのご多幸・ご健勝、ふるさと会の盛会・発展を祈念して……乾杯！



雲南市からのお知らせ (ふるさと近況報告) 雲南市政策企画部 うんなん暮らし推進課 課長 佐藤尚子さん

▼「紙面スペースの都合で報告の要旨のみを列記筆者」
▼今年も「しなね移住フェア」&「しなね暮らしマルシェ」というイベントが九月五日(土)に国際フォーラムで開催され、移住の相談だけでなく島根県の特産品販売も予定されていますので是非ご来場を！
▼九月十九日(土)には「ふるさと回帰フェア」というイベントが開催されます。こちらは移住相談を中心とした催しです。移住したいとお考えの方がおられたら是非ご紹介いたしますようお願いします。
▼雲南市でも空き家問題が顕在化しており、売りたい、貸したい物件をホームページで紹介するなどこれらの流通・活用促進を図っています。このような案件情報がありまして紹介したくなりますようお願いします。空き家の片付け費用を市が助成する制度もあります。
▼加茂岩倉遺跡の出土三十周年を記念して「シンポジウム」が十月十四日(土)には加茂文化ホールで、十月二十四日(土)には遺跡の多目的広場で「記念祭り」を開催します。それぞれレブリカも展示されます。
是非ご参加・ご注目！
▼女子ソフトボールチームが「宮(いちのみや)から雲南市に拠点を移し、チーム名も「シトリンシマネ」に変えて頑張っています。次回の国民スポーツ大会において雲南市はソフトボールの会場になっていますので是非ご注目！
▼「うんなん観光券」を利用して雲南市に宿泊しグルメと温泉、特産品などを楽しませませんか？
タクシーやレンタカーを利用される際のキャッシュバック制度もあります。
▼地域おこし協力隊が雲南広域エリアの情報を「雲南経済新聞」と銘打ってWEBなどを通して毎日配信し、地域で頑張る人々を紹介しています。是非一読を！
▼「市報うんなん」の定期購読者を募集しており、本日申し込みを受け付けています。是非この機会に！
▼本日「木次線GO」のポスターを掲示していますが、三人以上で木次線に乗車すると補助金が出るというものです。木次線で雲南市へGO！
▼雲南市プレミアムカタログが八月一日に発売され、六千円以上の商品が四千円で購入できます。WEB注文でもできますので雲南市商工会で検索を！
▼最後に、「ふるさと納税」にご協力をお願いします。返礼品の人気ベストスリーは、第一位が「たたら焙米(ほむらまい)」第二位は「奥出雲和牛」、第三位は「男性化粧品」VARON(ヴァロン)です。



- おたのしみ抽選会
特別賞品「提供者・提供品×数量」
▼石飛厚志様…奥出雲和牛(牛肉)×1点
▼雲南市様…令和七年吉田町産お米×全員
▼日本酒理八(白)×乾杯用 ③葡萄ジュース×乾杯用
▼NDRTラバー様…島根県カタログギフト券×1点
▼板垣勝弘様…さつま芋(自家栽培)×1箱
▼佐藤伸二様…水彩画×2点
▼園山幹生様…油彩画×1点
▼東京奥出雲会様…日本酒「理八黒」×1本
▼(株)日進産業「ガイヤ」様…芋焼酎×2本
▼松林孝之様…奥出雲葡萄園ワインセット×1点
ふるさと会賞品「事務局準備」
▼1等…雲南市物産詰合せ(8千円相当)×1名
▼2等…同(同5千円)×2名
▼3等…同(同3千円)×2名
参加賞…マドレーヌセット×全員

雲南市東京ふるさと会

総合司会
天沼事務局長

雲南市東京ふるさと会

懇親会(乾杯以降)司会
堀江事務局長代行

雲南市東京ふるさと会

島根県人会
森山副会長

- ### 自己アピールコーナー
- 掛合町出身 板垣さん
掛合町波多に係る思い出の文集の原稿募集
波多・掛合に縁のある方、思い出をお持ちの方、ご協力いただければ幸いです。1200文字程度
募集方法 メール tokemon.1945@gmail.com
郵送 〒267-0061 千葉市緑区土気町一六四三ー一七 板垣勝弘宛 質問・問合せ 080-502113651 十二月末まで
 - 加茂町出身 佐藤さん
私は加茂中出身の絵描きですが、九月に埼玉県の近代美術館で展覧会「埼玉創作展」を開催します。是非ご来場を！無料です。
吉田町出身 影山さん
本日シヨップ(下写真)を出していますが、普段は西萩産で島根セレクトシヨップをやっています。雲南の味を呼び物とした「雲南フェア」をやりたいと考えています。ご協力・ご注目！
 - 島根県人会副会長 森山さん
今回の県人会では、加茂町の重谷一甫(おもたにはじめ)さんという女子高生の絵画を展示します。非常に画力のある方で、障害をお持ちですが頑張っておられ、私も応援しています。今年こそ県人会に足を運び、重谷さんの活躍を見守って頂ければ幸いです。
島根県東京事務所 渡部さん
今年四月から東京事務所勤務で、本日はイベント事務局として参りました。今回の県人会には是非参加いただきますようお願いいたします。

閉会の挨拶

雲南市東京ふるさと会副会長
奥田 勲

事務局からのお知らせ

(1) 次回(第十回総会)は令和九年七月十日(土曜日)に開催予定です。
(2) 当ふるさと会の概要や活動状況など広報記事を東京島根県人会および雲南市のWEBサイトに掲載しています。
雲南市のWEBサイトには





講演
元読売巨人軍
樋澤良信さん

「巨人軍40年の想い」

〔注〕野球関係者への敬称は略し、言葉遣いは尊敬語・謙譲語等は廃しです・まず調で記述

先ほど紹介頂いたように、私の家内は加茂の三代で生まれ育ち、縁あって私と結婚しました。数年前に講演の話を頂いたのですが、その数か月前に家内を亡くしており、その時は非常にショックで講演の自信は無かったのです。それからだいぶ経ってから改めて「来年で結構です」という話を頂き引き受けることにしました。とはいっても、実は昨日から非常に緊張しているのです。昨日から僕で良いのかな？と、ずっと悩んでいました。また「何故、雲南市で巨人軍の話？」と疑問視される方も多いと思います。島根の方は「赤ヘル」のファンの方が多いのではないかと、何故そんなところで・・・と心配をしていました。そんな中、先ほど菅田さんと話をしたら、島根でも巨人ファンは意外に多いのですよと言われ少し安心した所です。

私は昭和二十五年の生まれで七十六歳になりました。朝ドラで「あまちゃん」というのがありました。あの舞台である岩手県の久慈で生まれました。宮城の東北高校へ野球留学し、その後同じ仙台の「電々東北」で三年間社会人野球をやり、千九百七十年に巨人からドラフト四位で指名されました。

一応「土井二世」という触れ込みで入団したのですが、当時はちょうど「V9」時代で、長嶋、王、土井、黒江、高田、柴田、末次といった錚々たるメンバーで、九回まで野手はスタメンのまままで代わるのは投手だけ。そこに割って入る事は厳しく、二軍においてすらスタメンで出ること事は難しい時代でした。三年目に二軍で盗塁王を取ったりして、やっと一軍へと思ったのですが、体が硬いせいもあって膝と腰を壊し五年間の現役生活を終わることになりました。トレッドの現役生活もありましたが、「巨人軍の樋澤で終わりたい」と希望したら「球団に残りなさい」と言われ

フロントに入る事になりました。当時、現場からフロントに入る事は珍しく二十七年ぶりの事であったそうです。スカウトやスコアラーをやった後、内野守備・走塁コーチを五年間やりましたが、そのコーチ時代、監督は藤田で、選手としては松井や中日から来た落合、清原などいろんな選手がいました。

秋田の一匹狼 落合

落合は秋田出身で一匹狼的で周りが気を遣う存在でしたが、私はズケズケ言う方で同じ東北人でもあり、落合にとつて私は話しやすいコーチであったかも知れませんが、落合とはそれ以来の付き合いで、今でも連絡は取っています。彼が中日の監督になった時「名古屋で一緒にやりましょう」と誘ってくれましたが、その時は巨人の寮長をやっており、「巨人の樋澤で終わらせてくれ」と言っており、コーチ就任を断りました。

大物 松井

時間にルーズな大物松井は入団した時ニギビ面で大きな顔をして体もすごいのですが、何と言ってもオーラがすごかったです。その松井のクジを引き当てたのは長嶋監督で、その時から松井と長嶋の付き合いが始まった訳です。松井は試合があつた日でも長嶋の部屋に行つてスイングのチェックを受けたりしていました。ただ、松井は時間にルーズで、いつも練習に三十分ほど遅れて来るのです。そもそな練習開始の三十分前に集合する決まりになつていたので、松井が遅れて来ると、そこで初めてマネージャーが「全員揃いました」と報告し練習が始まるのです。長嶋さんを待たせたのは松井ぐらいであり、それだけ大物だったという事でしょが・・・でも、しとやかで柔らかい声でしゃべり、気配りのできる人間ですので、周りの選手からも好かれていました。

今、阿部監督の後任問題が話題になっています。松井はまだニューヨークに住み三人の子供がおり、彼らに米国の国籍を取得させ米国情報が私たちの耳に入っています。あとは高橋由伸か・・・桑田の名前も挙がっていますが、本当は松井がやってくれれば長嶋も喜びファンも私もうれしく思う訳ですが・・・

ファンファーストの宇宙人 長嶋
会話をしたいでも、聴いているのかいのか分からない所があります。でも実はよくわかってきているのです。一茂をデパートに帰って来たかと思つていて、我々は彼を宇宙人ではないかと思つていたのですが、長嶋は色紙に必ず「野球は人生そのもの」と書いています。スーパースターとして球界を引っ張って行く苦労があつたのではないかと。私生活における苦労を重ね合わせてみていたのかも知れません。脳梗塞で倒れ右半身麻痺になつた時も厳しいリハビリをしていました。もう一度ユニフォームを着たいという信念からだとおもいます。野球を愛し、ファンを大事にする宇宙人でした。我々に対しても常々「ファンのために良いプレーを見せなさい」と言っていました。

気配りの人 王

長嶋と正反対だったから気が合つたのではないかと思います。マスコミで二人の不仲説が流れた事もありましたが、王はそんなことは思つておらず、長嶋を立てて球界を盛り立てていました。王は福岡ダイエーへ移りましたが、巨人に残つていたいという気持ちは強かつたのではないでしようか。我々がスナックで「王さんの会」という会合をやっている時に電話が入り、王の口から「もう、たぶん巨人には戻らないだろう」と紹介がありました。本人は相当悔しかつたのではないかとおもいます。どんな言葉で辞めさせたのか分かりませんが、たぶんナベツネの一言で決まつたのではないかとおもいます。（裏面に続く）



「巨人軍40年の想い」

(3ページから続き)

当時のダイエーは非常に弱くて、卵を投げつけられるなど屈辱を受けた事もありましたが、我慢強い人でファンや地域の為に粘り強く働き今の強いホークスを作り上げ、そして会長になったのです。今、八十六歳かと思いますが、「死ぬまで野球をやる」と頑張っています

問題児 清原

私がコーチ時代には原、松井、落合、清原、上原とか、たくさんいました。が、その中で清原は、どちらかと言えば友達と会話するような人間ではありません。自分のプライドがそうさせるのか分かりませんが...

彼が一塁手の時、内野手からの送球の内、ここ(胸の前)に来たボールしか取らないのです。おかげで、緒方をはじめ内野手の多くが外野手に転向させられました。周りに気を遣わせる選手、周りがやりづらい人間であつたと思います。また、我々は「〇〇選手のサインをもらって！」と頼まれることがありますが、私は彼のサインだけははつきり断ります。彼は依頼者の顔など観ず横を向いたままサインする訳です。とは過去いろいろ問題を起こしましたが、今は息子さんのためにも「しつかりやらなければ」と考え頑張っていると思います。

天才 元木

清原と一番仲が良かったのが元木です。長嶋は彼の事をくせ者と呼んでいました。野球に関しては天才ですね、勝負強いし。ただ、練習になるとすぐに「ある病気」になるのです。キャンプでも一週間ほど経つと、どこかを故障し「痛い×2」と言いつて練習を休み、スケジュールをまともにこなした事はないはず。練習が嫌なのです。そこで中西(太)コーチの提案で、彼は練習ではパツとしなが試合では一流だ。ゲームに出して使っていけば怪我もしないだろうとし、試合で使って育てる事になりました。

四十歳までやれる 坂本

坂本が入寮する時、スカウトから「非常にやんちゃです。寮長ヨロシク」と言われました。やんちゃ位がちょうど良く、私のような遠慮が

ちな奴はプロとしてはダメなものです。他人を追い越せないのです。彼は関西人で、相当やんちゃなのかと思っていましたが、実際はそれ程でもなくロッカーも部屋もきれいで、気丈な所も思いやりもあり、これなら一軍でやって行けるなと感じました。彼は見た目には細いですが、けっこうがっちりした体をしており、なによりも体が柔らかい。体が柔らかい事は怪我をしないという意味で非常に重要な事です。実際に彼は一軍でレギュラーを取るようになってから、ほとんど怪我をしたことがないはず。私の住んでいる所の近くにジャイアンツ球場があり、故障した連中も調整・練習をしたりします。昨年たまたま彼が怪我をした時そこで会ったのですが、その時彼に「四十歳まで野球をやりな。そういう体なのだから」と言いました。周りは引退の話題をしているようですが、私はあと二年やって欲しいと思っています。私は天沼さんが時計を気にしていらっしゃるの...云々が大好きです。今度娘や孫といっしょに雲南・加茂に伺いたいと考えています。本日は有難うございました。



交流会スナップ写真(続き)

